

### 平成24年度 小平市 教育委員会表彰 (児童・生徒対象)

教育委員会では、毎年、コンクールや競技会で優れた成績を収めた児童・生徒を表彰しています。平成24年度は、52名、5クラブ、1学級、1学校、1団体と多くの児童・生徒が対象となり、平成25年3月15日(金)に市役所で表彰式が行われました。

委員長から表彰状が贈呈された後、受賞者を代表して、小平第四中学校3年の川畑大樹さん(表彰式当時)から、「両親や顧問の先生、部活動でいっしょに練習したみんなに支えられ、関東大会出場まで、頑張ってきたので頑張っています。」との力強いあいさつがありました。

また、表彰式後には、今年行われるスポーツ祭東京2013のマスケットキャラクターのゆりーともも参加し、表彰者と記念撮影を行いました。

今後も、いろいろなことにチャレンジし、頑張る子どもたちを応援していきたいと思えます。

平成24年度教育委員会表彰受賞者・団体(敬称略、学校、出場大会等は平成24年度時点)

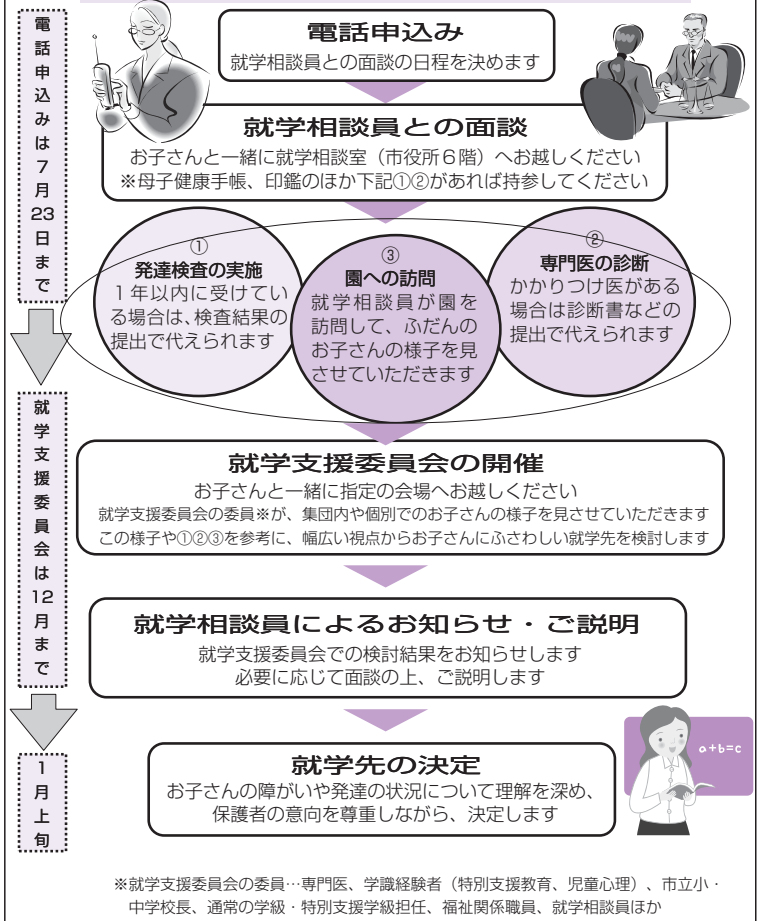
#### ▼小学生

「三小」出原空弥(沖永荘一杯 第24回 東京都少年少女学年別柔道選手権大会)、高木秀徳(第5回 東京都中学生オーブンアーチェリー大会)、東堂一貴(平成24年度 全日本少年少女武道(剣道)錬成大会)「五小」林琴子(第14回 ショパン国際ピアノコンクール in ASI A アジア大会 3・4年生の部)、三嶋晴人(朝永振一郎記念「科学の芽」賞)、「六小」小平第六小学校5年3組(第39回 東京都小・中学校新聞コンクール 小学校・学習新聞の部)、「七小」鈴木麻悠香

(第28回 全国小学生陸上競技交流大会 6年女子百メートル走)、「十四小」田窪慶就(とびうお杯 第27回 全国少年少女水泳競技大会 男子百メートルバタフライ)、「学園東小」境堀将(第32回 全日本学生選抜書道展 小学部初級)、成松裕香、三井詩織、学園東小学校(第7回 しょうゆ感想文コンクール)

▼中学生 「一中」青佳祐(第40回 関東中学校陸上競技大会 2年男子百メートル走)、「二中」小平第二中学校女子テニス部、剣持梓、李淑玲、野副ひかり、金子遥(第39回 全国中学生テニス選手権大会)、剣持梓、李淑玲(ダブルス)、「三小」全日本ジュニアテニス選手権大会 14歳以下女子ダブルス、野田樹力、武藤洗希(第65回 関東中学生テニス選手権大会)、小平第二中学校男子バドミントン部、女子バドミントン部、小倉由嵩、佐藤烈、小野寺雅之、秋田聖華、田村優典(第42回 全国中学校バドミントン大会)、柴田陽登、福嶋壮太、石原優美、村井陽香、岩谷果歩、小川杏加、丹野千瑛、佐々木しおり、吉村七美(第43回 関東中学校バドミントン大会)、佐野直輝(第37回 関東地区選抜空手道選手権大会 中学男子組手)、「三中」小平第三中学校吹奏楽部(第60回 全日本吹奏楽コンクール)、「四中」高島美桜(第67回 国民体育大会 競泳少年女子B 4百メートル)、「第52回 全国中学校水泳競技大会 女子百メートル自由形」、川畑大樹(第36回 関東中学

### 就学相談の進め方とスケジュール



校水泳競技大会 「五中」清水優太(第33回 関東中学校ゴルフ選手権大会)、「六中」初瀬翔吾(第52回 全国中学校水泳競技大会)、「花南中」花小金井南中学校箏曲部(第12回 全国中学校総合文化大会)、森梓紗(全国小・中学校箏曲コンクール in n 字部 中・上級者部門)、小平第三中学校生徒会(地域における清掃活動や社会福祉活動に尽力) (教育庶務課)

### 平成26年度就学特別支援学級・学校就学相談

平成26年4月に小学校、中学校へ就学するにあたり、心身に障がいのある心配があり、特別な支援を必要とするお子さんの就学先について相談を受け、適切な就学を支援します。

相談対象者 ▼小平市立小・中学校特別支援学級または都立特別支援学校への就学をお考えの保護者  
▽現在、お子さんが身体的理由で就学猶予または免除を受けていて、平成26年4月からの就学をお考えの保護者  
申込み 7月23日(火)までに問合せ先へ  
問合せ 学務課就学相談担当 ☎042(346)9593



### 小平第二中学校区の取組

「教科部会による情報交換」と「あいさつ運動」の実施

小平第二中学校区では、教科部会を設定し、部会ごとに小・中学校の教員がより具体的な学習場面での情報交換を行っています。例えば、保健体育部会では、体力向上に関係する細かい情報交換をしながら、情報の共有と連携を検討しています。

また各学校で児童・生徒が中心となった「あいさつ運動」を行っています。



〈児童が中心となったあいさつ運動〉

### こだいらの小・中連携

〈第4回〉 小平第二中学校区 小平第三中学校区

平成24年度から市内のすべての小・中学校で取組を開始した「小・中連携」について、全校共通プログラムのほか、中学校区ごとにどのようなことが行われているか、その一部をご紹介します。

### 小平第三中学校区の取組

中学校へのスムーズな適応を目指して 小平第三中学校区では、小平第三中学校への進学を期待する小学校6年生が増えることを目指した小・中連携を進めたいと考え、平成23年度から小平第二小学校、小平第九小学校、鈴木小学校の6年生を中学校に招き、授業体験を行っています。



〈中学校授業体験の様子〉

その他の取組 小平第三中学校の運動会でよさこいと一緒に踊ったり、夏休みには、中学校教員による小学生向けのものづくり教室やロボット教室を実施したりするなど、機会を設け、人との交流を進め、お互いの理解を深めています。

小平第六小学校 児童数：531名(17学級)

小平第十三小学校 児童数：438名(13学級)

小平第二中学校 生徒数：630名(18学級)

(平成25年5月1日現在)

小平第二小学校 児童数：452名(16学級)

小平第九小学校 児童数：532名(17学級)

鈴木小学校 児童数：196名(9学級)

小平第三中学校 生徒数：628名(18学級)

(平成25年5月1日現在)

